



をみなへし 秋萩しのぎ さを鹿の 露別け鳴かむ 高円の野ぞ

万葉集 巻20-4297 大伴家持

この高円の野はやがて雄鹿が、をみなへしや秋萩を踏みしだし、しとどに置く露を押し分け、鳴きたてることであろうなあ。

給食の無償化が実施されます！

暦の上では、立冬が過ぎ季節は晩秋へと向かっています。今年の夏は例年以上に暑かったため、広陵町の木であるキンモクセイの甘い香りが一月近くの遅れで、10月末から家々のあちこちから漂っています。そのような中でも、辺りを見渡せばモミジやサクラ、イチョウ、ナンキンハゼなどの木々が紅葉し始めており、深まる秋を感じられる頃となりました。



学校・園では、2学期最大の行事であった運動会・体育大会もそれぞれが趣向を凝らして成功裏に終わり、子どもたち一人一人の心と身体には、行事や物事に取り組んだ後に残る達成感や成就感が得られたのではないかと感じています。2学期も後半に入り、子どもたちにとっては学習や保育にこれまで以上に取り組まなければならない時期になっています。しかし、それ以上に、これからの園行事や学校行事（生活発表会やかけっこ、芸術鑑賞会や遠足、マラソン練習）等、数々の取組を通じての事前学習や練習、けいこなど、めあて・目標に向かって取り組む姿勢やその努力が本番で、形になったときの喜びや成就感、達成感を味わうことで大きな自信となり、しいては自己肯定感や自尊感情の醸成につながると思います。

ところで、今年の7月に吉村町長が着任されましたが、町長の選挙公約の一つに「給食の無償化」がありました。その理由としては、学校教育費や学校外活動費をはじめとして、子どもに係る教育に要する費用が総体的に増加していることから、その負担軽減を図ることで、子どもの教育に必要な資金を家庭で確保してもらうことを目的としています。その公約実現のため、11月4日の臨時議会に「広陵町学校給食費徴収条例の一部を改正することについて」の議案を上程し、その案が可決されました。学校給食の無償期間は、令和8年1月1日から令和9年3月31日までとするものです。これは、国が給食の無償化を進めようとしていることから、国の動向を注視するため、一定の期間を設けたものです。

これまでは、給食の賄い材料費分を保護者の負担として、小学校は月額4,200円（実質は5,200円）、1,000円を公費負担を、中学校は4,500円（実質は5,500円）、1,000円を公費負担を徴収してきました。その給食費が無償となることから保護者への負担が軽減され、その分が他の経費に回していただけは、とてもありがたいことだと思います。

ただ、給食を無償化することに住民からの血税である公費を投入することから、子どもたちの給食の食べ残し、いわゆる残食をどれだけ減らせるのかが大きな問題となります。先日の総務文教委員会でも議員の皆さんから、「広陵町の中学校給食の



残食率が数年前と比べて低くはなったが、まだ高いのでは。」と指摘がありました。確かに令和3年の中学校の残食率は15.0%でしたが、令和6年度は8.1%とかなり低くはなりました。しかし、まだ高い状況にあることは事実です。小学校の残食率も令和6年度は4.9%で、もう少し低くなればと思います。

学校の食育における残食への指導は、これまでも、子どもたちが喜ぶメニューの開発、もったいないという意識の醸成、喫食時間を少しでも長くするための給食準備の競争、体格によって食べる量が異なるため、その量の調整等、様々な取組をしてもらっています。その結果、徐々に残食率は減ってきていますが、私の願いとしては、小学校が3%台、中学校が5%台になってくれればと思います。

それから、学校での取組と同時に家庭での食品ロスをなくす取組もお願いしたいです。

環境省が今年の6月27日に発表した「我が国の食品ロスの発生量の推計値（令和5年度）」では、食品ロスの発生量は約464万トン（うち家庭系約233万トン、事業系約231万トン）と推計されたようです。10年前の平成25年度では、約632トン（うち家庭系約302万トン、事業系約330万トン）でしたので、食品ロスは、SDGsの考えの普及によりかなり減ってきましたが、令和5年度の家庭系食品ロスが事業系を逆転しました。このことは何を物語っているのでしょうか。家庭でも食べ残しはしない、もったいないの一言を言ってもらえればと思います。



教育委員会の取組

第64回広陵町文化祭を開催しました！

11月1日（土）から3日（月）までの3日間、中央公民館と中央体育館において、第64回となる文化祭を開催しました。今年度からは、これまでのかぐや姫ホールでの開会式を簡略化し、開会セレモニーとして、開会宣言と、町制70周年を記念して、70名によるテープカットを中央体育館前広場で、1日の午後1時から行いました。吉村町長の開会あいさつ、私の開会宣言、そして公募で来ていただいた70名の方にテープカットを満面の笑顔でしていただきました。



その後、中央公民館大会議室で広陵中学校・真美ヶ丘中学校の生徒を対象に募集したデジタルアートによる文化祭ポスターデザインの表彰を行いました。192点の応募作品の中から厳正な選考を行い、最優秀作品には真美ヶ丘中学校の岡本陽彩さんの作品を、また入選作品10点を選定して表彰式を行いました。



その後、午後2時から、文化講演会として、「江戸時代にタイムトラベル～落語と講演～」という演題で、素人落語家の広福亭 ばい氏に講演していただきました。NHK大河ドラマ「べらぼう」の舞台となっている江戸時代の文化を漫談風に面白おかしく解説していただくとともに、江戸時代を扱った落語の「時うどん」などをプロの落語家に匹敵するぐらいのすばらしい話芸で、会場を盛り上げていただきました。



中央体育館アリーナでは、文化展覧会が開かれ、絵画、書道、俳画、写真、華道、陶芸など15部、402点の力作が展示されていました。また、中学生絵画展や中学生ポスターデザイン展、そして箸尾工業団地から出土した土師器や須恵器などの文化財発掘速報展、日本の伝統文化に触れる野点もアリーナ内で行われました。体育館格技場では、保育園・幼稚園に通う園児の作品展があり、運動会やいも掘りなど園行事で心に残った情景を絵で表現した作品が展示されていました。

3日の10時からは、かぐや姫ホールで中央公民館活動発表会が行われ、広陵中学校吹奏楽部をはじめ、フラダンスやコーラス、お琴、尺八、日本舞踊、詩吟、居合道など、中央公民館を中心に活動されている個人・団体の発表がありました。互いに親睦と交流を深めながら、日頃の活動の集大成として、これまで以上に、気合いが入ったすばらしいパフォーマンスをしていただきました。

学校・園から

広陵東小学校

みんなの力がひとつになった体育大会

「最後まであきらめず、全力でがんばろう」のスローガンの下、体育大会を行いました。綱引きやリレーなど、すべての競技を全力で頑張りました。特に演技は練習の成果を応援してくれているご家族に見てもらうことができました。



広陵東小学校附属幼稚園

令和7年度で閉園となる幼稚園最後の運動会

東小学校のグラウンドにて元気いっぱい・笑顔いっぱいで全員出席で迎えることができました。題名「みんなでハピネス～ぼくのことをみて～」で年長5名・年中6名でフラッグと組立体操の合同演技を行いました。大小のフラッグが広々とグラウンドを彩り「ぼくのことをみて」とアピールしている姿や、年中児が年長児の手伝いをする組立体操の姿に頼もしさを感じ、少人数園ならではのつながりを見ることができました。



南保育園

5歳児組体操

「すすめ！17人のステージ」

前日の悪天候で園庭のコンディションが万全ではありませんでしたが、子どもたちは全身泥だらけになりながらも、友達と心を一つにし、最後まで全力を出し切り頑張ってい

ました。そして、どの子ども保護者の皆様の温かい声援に包まれながら、本当に素敵な笑顔で踊ったり走ったりし、南保育園最後の運動会を存分に楽しんでいたと思います。そんな子どもたちの姿は、私たちに大きな感動を与えてくれました。



広陵北小学校

思い出に残る体育大会

「北小の旋風巻き起こせ」のスローガンの下、体育大会を実施しました。徒競走や学年リレー、大玉ころがしや玉入れなどの定番競技とともに、演技では、お気に入りの服を着て、ノリノリのダンスをする低学年の姿がかわいかったです。中学年は万博カラーのフラッグを持って、万博以上に盛り上がる素敵な演技を披露しました。高学年は、黒の法被の背中に好きな漢字を一文字描き、座頭市・ソーラン節にあわせた演技の迫力は圧巻で、観客を魅了しました。



北かぐやこども園

全学年そろった運動会

今年度の運動会は、全学年が一緒に行く従来のスタイルで実施しました。自分たちのプログラムを精一杯がんばることに加えて、上の学年の競技や演技を観ることによって、「あこがれ」を抱いたり、下の学年の子の姿を観て、応援する気持ちや思いやりの心の育成に繋がることと思います。当日は早朝から、大勢の来賓、保護者、地域の方々にお越しいただきありがとうございました。



真美ヶ丘第一小学校

運動会を終えて

「絆のバトンでかけぬけろ!!」のスローガンの下、学級・学年を超えた全校みんなでの学習を無事に終えて、真美ヶ丘第一小学校みんなの「なかよし」がさらに深まって仲良くなれたと思っています。



①みんなで一つのものを創り上げる力、②最後までやり遂げる力、③友達どうしお互いに見合って励まし合う力も高まってくれたいたら嬉しいと思っています。

真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園

幼中交流

真美ヶ丘中学校の3年生が家庭科の授業の一環として幼稚園に来て、園児たちとふれあい交流をしました。園児達はお兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぶ中で、いっぱい抱っこやおんぶをしてもらって大喜びでした。中学校の体育大会でした「妖怪体操」を子どもたちに教えてくれて一緒に



踊ったり、日替わりでリレーや尻尾とり、ダンシング玉入れをみんなで楽しんだりしました。9時過ぎから10時20分まで時間はたっぷりありましたが、楽しすぎてあっという間に過ぎた素敵なひとときでした。

真美ヶ丘第二小学校

5・6年 煌めき

～仲間と刻む一瞬～

10月25日(土)、第38回の体育大会を行いました。たくさんの応援の中、子どもたちは「全力全身!仲間と共に輝け」のスローガンのように、一人ひとりが全力全身で、仲間とともに演技・競技をがんばりました。そして、その姿は、とても輝いていました。



真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園

思いっきり楽しんだハロウィンパーティ!

10月31日(金)にハロウィンパーティを楽しみました。いろいろな教材を使い、子どもたちが衣装のデザインを考えながら作りました。真美二小学校の校長先生も魔女になっていただき、子どもたちが「TRICK OR TREAT」「おやつをくれないといたずらしちゃうぞ～」とオバケやプリンセスになった子どもた

ちが元気よく言うと、「元気なおばけたちだね!」とカボチャのかばんにおかしを入れていただき、嬉しそうにカバンの中を見つめ、「ありがとう」とお礼を言って次の場所に行きました。地域の方やPTAの方も子ども達と同じように仮装をしていただき、みんなで楽しむことができました。



真美ヶ丘中学校

記念すべき節目の体育大会

「笑顔つながる40周年 ここからまた一歩」というスローガンのもと、第40回体育大会を開催しました。2年生は5人6脚で声をかけ、お互いを思いやりながら絆を深めました。3年生は玉入れでも、応援でも学級で一つになる楽しさを伝えてくれました。そんな先輩たちの姿を見て、1年生も中学校初めての体育大会を一生懸命取り組みました。

競技を戦うだけでなく、真美中生一人ひとりが輝く体育大会でした。

